

# 青森市町会連合会報



## 創刊号

題字 奈良岡青森市長

## 発刊のことば

青森市町会連合会長

坂本 松三郎

本会々報発刊にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

よく「遠くの親類より近くの他人」という言葉が昔から言い伝えられております。これは人間生活が社会生活である以上、同じ地域に住む人達は、お互いに仲良くし協力しあつていくのでなければ、より良い生活は営み得ないという人間生活の本質を意味する言葉だと思ひます。

同じ地域に住む人達は、地域的な共通の問題をもつており、こういうことは個人的に解決できるものではありません。そこでこういう共通の問題は、お互い仲良く協力しあつて解決してこそ、その地域も発展し、より良い生活を営むことができるのです。このお互いに仲良くし、協力しあつて行くという組織体が即町会なのであります。従つて町会は、その地域

に居住する人達によつて、自主的に任意につ



に居住する人達によつて、自主的に任意につ

くられた住民自治団体といえるのであります。

当連合会は、この住民自治団体である町会が相寄つてつくられた連合組織体であり、結成以来十五年の年月を経過しておりますが、現在では二百五十五の町会が加入しております。この間、いささかではあります、町会設置の趣旨にそつて、地域の発展と住民の福祉増進のため、微力をつくして参りました。特に昭和六十年を目標とした青森市の総合開発計画は今年から「青い空、青い海、青い森」の住み良い豊かな街づくりを目指して第一歩を踏み出すことになりましたがこれはすべての市民が参加し、すべての市民によつて推進されるのでなければなりません。そして、これは地域の発展と住民の福祉増進に直接つながるものだけに、本会報がその推進の一助ともなれば幸甚と存じます。何分のご指導、ご支持をお願いしてやみません。

粗辞ながら発刊のご挨拶と致します。



今年も大変な雪の日々が続いていますが、青森市では、除雪について、今年も市民の皆さんの協力を求めています。

青森市では、今年、機械による除雪路線を延長して、除雪対策計画を立てましたが、各家庭や、官公庁、学校、会社等の前の歩道、それに屋根の雪などの処理は、市民の協力がなければ万全な対策を

たてられないため、次のように雪の克服に協力して欲しいといっています。

**自宅前は各家庭で**

機械で除雪する時は、ご承知のように、雪が歩道や家の前に寄せられます。そのため、玄関や入り口、通路をふさいでしまうことがあります。自宅前の除雪と雪の整

理については、市民の方々のご協力をお願いします。

**官公庁・会社の協力を**

官公庁や、学校、会社等の方は一般家庭にさきがけて協力して下さるようお願いいたします。せっかく一般の方がご協力して下さっているのに、官公庁や、会社の方々の積極的な協力が得られませんか、除雪対策も中途半端なものになってしまうおそれがあります。

**駐車禁止を守ろう**

屋根雪や庭等の雪は、各家庭で処理するようにしましょう。また駐車禁止の道路には、絶対自動車等を放置しないよう心がけましょう。

**庭木には目印を**

庭木や塀等が、道路ぞいにぐっと近くなっている家庭のみかけられますが、折れたり、こわれたりする危険がありますから、除雪作業員にもすぐ判るよう、目じるしになるようなもの（赤い布きれなど）をつけるようにしましょう。除雪作業をしている車に出会ったら、作業車の運転を優先させて事故のないようにしましょう。ま

た、駐車禁止以外の所でも、除雪作業のため臨時に駐車制限になることがありますから、ご協力下さい。

駐車、停車している車のため作業の出来ない箇所が多くあります。定められたとおり駐・停車するようにして、作業能率の低下することのないよう、市では特に協力をよびかけています。

**雪の捨て場所に注意**

雪を捨てて良い川は堤川と、野内川の二カ所に決められています。それ以外の川に雪を捨てますと、水害発生の原因等になりますからくれぐれもご注意下さい。

雪の捨て場所は、三〇〇トン岸壁か一〇〇〇トン岸壁の突端か、基部を利用しましょう。船舶の荷役に影響を与えないように注意して、荷揚場等には捨てないようにしましょう。

**連絡は市の道路課へ**

除雪について、そのほか危険なこと、気付いた事等があつたら、青森市道路課へ連絡しましょう。電話(4)一一一番内線四三四番、四三三番、又は直通(4)〇四二七番です。

《地域とともに》  
総合建設業

**株式会社 奥村工務店**

本社 青森市大字造道浪打494  
TEL(4)0521(代)  
出張所 東京・八戸



新しい人生を歩むお二人のために

挙式からハネムーンへのご出発まですべてホテルにおまかせ下さい。



ご婚札・ご披露宴は、ご予算に合わせて如何ようにもご相談に応じております。

お申込み・お問合せは **ホテル 青森**

電話(4)1541

# 発刊によせて



青森市長 奈良岡末造

皆さんこの新しい年は、今までどの年よりも幸に満つる年であつてほしいとひたすら祈つております。

昨年はこうした祈りをこめて新年を迎えましたが、その昨年はどうであつたでしょう。時を移さずまた豪雪が襲いかかり、市民ともども新春早々にして大自然の猛威と真向からたかかわなければならなかつた、いわば戦慄を感じさせる年のはじまりでした。

私も市長に就任以来、あたかもつきまとうような豪雪、地震など大小の災害が相ついでだけに本当に今年こそはと祈念したものの、そばからまたしても豪雪に見舞われ、實際頭をかかえたくなるような思いをしたのは私ひとりではなかつたと思います。

遅春が訪れ、夏はめぐり、楽しいねぶた祭りを境に秋も実りはじめた八月二十三日から二十四日にかけて今度は台風九号の大雨による桜川団地、花園町をはじめ、ま

ちを飲みこまんばかりのあの水害でありました。災害の経験をもち絶えず身構えと訓練を怠つてはいなかつたが、かくも広範にしかも、しやにむに打つ手を許さぬ自然の狂える力には、これまでの災害の観念が一辺にけしとんでしまうような地震とはまた違う恐しさは永遠に忘れることができません。

こうして災害が強い印象となつて一年は暮れましたが、これによって確かに失なつたものも多いが、得たものもまた更に多いといふことを災害をとおして本当に肌で知ることができました。私があえて災害を引き出したのは災害の場合こそ、真に人間の美しい姿を見ることが出来るからであります。

災害はそれ即ち戦いであり最も追いつめられたものであります。しかしどうであらう、豪雪にせよ、水害にせよ、当時手のほどこしようがないとまでいわれたあの大難も、市民の汗によつて実に見事に克服することができたのであります。いや克服よりもむしろ勝利という言葉の方が正しい評価かも知れません。私は市民生活の中に起る事柄についてほどこした成果もさることながら、そのとき市民がどうしたかというところがなほ貴重なことであり、尊ばなければならぬことであると信じております。協調心、隣人愛、勇氣、そのうえに立つた逞ましい意欲、強い住民意識それに町会を中心とする整然とした行動、つらい本当にっらい災害の中にこのような尊いものを確かめることができ市政の担当者としてこれまでにない大きな感動を覚えると同時に、また私ほどの幸福者もないと胸あたたまる思いを深くしております。

この快挙ともいふべき会報は、恐らくこれから市民の間に広く読まれ、市民の心のまじわりをもつ「生活紙」として親しまれその真価を示すであらうでしょう。

青森市では昨年の暮れに懸案の総合開発計画の決定をみました。計画は昭和六十年を目標に編成に当り、いずれも夢ではない、可能性の富んだ飾らないムダのない市民のものになりされるものを念頭といたしました。

「青い空、青い海、そして青い森」結局はこうした汚れない美しい本当に住みよい都市を、ほかならぬ市民総参加の市政によつて築きあげようということであります。

こうした面にもこれから「青森市町会連合会報」がその役目をも果していただくならば望外の喜びであると存じます。

ここにその発刊を心からお祝いし、町会連合会の一層の発展をお祈りしてやみません。

全酒類・食料品・壺缶詰卸

株式会社

堀内商店

青森市新町2丁目2ノ2 (丸大ビル) TEL(2)6221~6 市外専用 (青森) 23

# こわい冬の火災

## わが家・わが町を火災から守ろう!



冬の火災は、大部分が不注意からといわれています。冬の火災がこわいのは、雪のため消防車が思うように活躍できず、小さな火災も大火になるおそれがあるからです。逃げ場を失い、尊い人命を失う例も未だに後をたちません。冬の火災について考えてみましょう。

一億八千万円が  
灰になりました

青森市民の火災予防に対する認識の高揚と消防威力の強化により青森市には大きな火災はありませんが、市消防署の調査によれば、昨年一カ年の出火件数は二二七件で、それに伴う損害額は約一億八千二百万円となり、市民生活に大きな脅威を与えている現況です。一般でも二つ以上の出入口を確保するよう除雪をしましょう。また、大勢の人が集まる場所や、多くの人が居住している建物は非常口の除雪や避難通路の確保が大切です。火災を予防するためには消防署より示されてある火気に対する注意事項を念のため今一度思いおこし、わが家、わが町から火災を出さない様に致しましょう。

### 居間や

#### 寝室にまず注意

一、炉に火をおこしているか、火鉢コンロを使用しているか、又はコタツをかけている場合にはなるだけ外に出ない様にして注意し、外出する時は必ず火に灰をかけたコタツは取外してから外出する様にしましょう。

二、ストーブ、風呂場等の煙突附近は過熱に堪え得るか、煙突の

破損はないか等をよく確認してから使用しましょう。

三、取灰および灰皿の吸いがらは燃焼物のない場所に捨て、必ず水をかけましょう。

四、煙草の吸いがらのなげ捨ては止め、室内では必ず灰皿を用意してから吸い、寝床で煙草をのむ事は止めましょう。

五、ガスのゴム管の古いものはガスの洩れない内に取換え、夜寝る時は必ず元栓を締める習慣をつけましょう。

### 台所や

#### 目にふれぬ所にも

六、仏壇や神棚のローソクの火も監視しましょう。

七、たき火は附近に燃え易い物のない場所で必ず監視しながら行ない、最後は水か土砂をかけて消火しましょう。

八、子供にマッチをいじらせたり、火遊びをさせない様にし、特にマッチは子供の目の届かない処に保管しましょう。

九、石油ストーブ、ガスコンロ等は障子やカーテン等火のつき易い物のあるそばでは使用しない様にし、特に石油ストーブは転倒させない様注意しましょう。

十、電灯のソケットから二本以上のコードをとる事を止め、電話アイロン、電気アンカ、コタツ等



あなたのイメージを宣伝・販売に直結させる広告代理店

**APD 青森企画演出株式会社** (7)4851 (7)1623



旅行は1割引の周遊券で

**近畿日本ツーリスト**

青森営業所 ▶ 青森駅前 電3-3461

を使用中そばを離れる時は必ず電源を切りましょう。

十一、溶解線（ヒューズ）は規定のものを使用し、針金やその他のものを使用しないようにしましょう。

十二、外出する時や寝る前には、必ずもう一度火の元を点検する習慣をつけましょう。

### 人身事故をまねく

#### プロパンの災害

十三、特にプロパンガスの利用が増えています。取扱いのミスによる災害が増加しています。ガスの災害は燃焼速度が非常に早く

町内の皆様は交通問題をはじめ、少年非行防犯運動その他いろいろな面において格別のご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

この紙面をお借りして厚くお礼を申し上げます。

#### 警察活動の重点目標は、今年も昨年を引き続き

一、交通事故をいかにして防止するか

二、非行少年をどうして減少させるか

三、街から町内から暴力を追放する

人身事故をとまなう例が多いので事故を未然に防ぐためつぎのことに注意しましょう。

○器具の構造を家族みんなが良く知り、正しい使用方法を守る事が第一です。

○ガスボンベは風通しのよい屋外に置く。

○ゴムホースは時々点検を行ない古いゴムホースは取替える。

またゴムホースは必ずホースバンドを付けましょう。

○ボンベの取替えごとに配管（ゴムホース）のガスもれの有無を調べる。

○ガスもれを発見したときは、

るにはどうあるべきかの三点に向けられるのであります。これは、どれも大きい社会問題化していることばかりであり、市民一人一人のご理解とご協力なくして、とうてい成果はあげられる

## 発刊によせる

青森警察署長 石田 徳 蔵

ものではありません。

そういう意味において、昨今各町内のなかに防犯部、交通安全部などを結成されまして、各町内が自主的に交通安全ならびに防犯体制を

火気の使用を中止し換気を行ない専門員に検査を依頼し安全を確かめてから使用する。

○しろうと配管は事故のもと、絶対にやめましょう。

○ボンベバルブのグラッドナットには右ねじと左ねじがあり、間違つて回しますとたいへんなことになり、手早く手を触れないようにしましょう。

火災発生は、通報はす早く

#### 火災発生は、通報はす早く

十四、火事は最初の五分間といわれます。従つて通報は一分一秒

着々整えつつあることは、まことに力強かつたのもしい次第であります。

この組織が推進力となつて、やがて地域社会の浄化と発展向上につながるものにならうかと思つて、

警察としても「市民のための警察」「市民の幸福」をモットーとして精一ぱい努力する

覚悟でございますので、今年も倍旧のご協力とご支援くださいますようお願い申し上げます。

でも早い程損害は少なくて済みませう。万が一にも火災が発生した場合には、大声で隣所に知らせると共に、一一九番に通報するか、附近の火災報知機を利用し、一時も早く消防署に連絡しましょう。

十五、火災の発生した場合、一つでも多くの家財を持出したいのは人情ですが、この事は焼死の原因ともなります。手早く衣服をまとい煙にまかれぬ低い姿勢で避難しましょう。

十六、老人病人、子供の寝所はなるべく二階はさげ、尚二階には避難用のロープかなわばしごを用意しておきましょう。

十七、わが家の消火、火災通報、避難、家財持出順等に関し、家族会議を開き検討し、体勢を整えておきましょう。

「し尿」の汲み取りについて

冬の間にやまされるのが「し尿」の汲み取りです。次のことに気をつけましょう。

① 冬の間の「し尿」の汲み取りは、まとまつて申し込みますよう。

② 各家庭の汲み取り口や、通路の雪は、汲み取りできるように除雪しておきましょう。

早く！ 確実に！ 完全に！

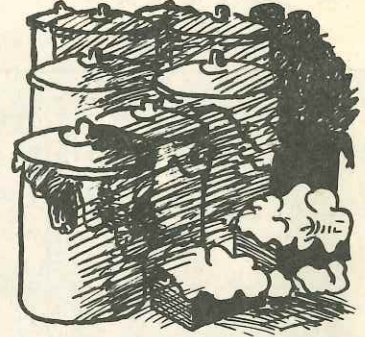
株式会社 青森自動車教習所

社長 毛内喜代秋

青森市大字原別字難波8 TEL (5) 1453



# 冬のゴミ収集 について



冬のごみ収集は雪が邪魔になつて大変ですが、つぎの事柄に気をつけましょう。

① 冬の間は、積雪のため道路がせまくなりますから、ごみ容器は、通行のじやまにならないよう、かならず決められた場所に持ち出しましょう。

② ごみ容器の破損または紛失を防ぐため、廃品の袋等を使うのが便利です。

③ 石炭等の燃えがらぐは、火気が残っていないことを十分確かめてから、廃品等の袋に入れて持ち出しましょう。

## 弘前では

### ポリ袋に効果

弘前市では昨年五月からポリ袋によるゴミ収集を検討していまし

たが、良い結果が出たので、ポリ容器からポリ袋への変更をすすめていく模様です。

昨年五月から、弘前市の十三町会が協力してポリ袋を使ったゴミ収集を検討していました。その結果つぎのように良い点が沢山あるということになり、ポリ袋の使用区域を広げて行く方針のようです。

### 美しいポリ袋

#### 経費も変らない

ポリ袋の便利な点は、家庭に容器をもち帰る必要がなく、勿論洗う必要もいらぬことが魅力だといわれています。

集める上でも、袋を車に投げ入れるだけで良く、作業員の被服をよごすことなく、生産率が向上する

という意見が圧倒的でした。街の美観の点から言つても、ゴミがこぼれないため、道路がよこれるということがあります。また収集が一時ストップしても別な袋に入れて待つているに良いという便利さもあります。経費的にも、ポリ容器は年間三百円程度、袋は四百円程度と、大きな差がなく、好評のようです。

## これが水道の修繕料



水道が凍つたり、破裂したりして、水道を修繕することが多くなつていきます。

水道を大切にすることが、まず第一ですが、万一のときの修繕料をあらかじめ覚えておきましょう。

(1) 破裂修理(一カ所あたり) 立上り給水管 六四〇円 床下・さくり・壁中 九二〇円

(2) 宅地の土の中 一一三〇円 凍つた水道の水をとくす場合(一カ所当り) 本人のお湯を使った場合(十五分未満 四一〇円) 解水器を使った場合(二時間未満 七三〇円)

(3) 水せん取り替え 胴長水せん 一、〇四〇円 自在水せん 一、一九〇円 水せんの故障 水せんの皮の取り替え 二〇〇円 水抜きせんの皮の取り替え 六六〇円 不凍せんの皮の取り替え 七三〇円

これらの修繕額は、標準単価です。特別に材料を使つたり、修繕時間が長くなつたりしますとこれらの額に加算されます。修繕のことについては青森市水道部施設課(TEL(4)六二二六・(4)六二二七番)へおたずねください。

昭和四十五年二月二十五日 発行  
発行者 青森市橋本二丁目一番七号 青森市町会連合会 (会長) 坂本松三郎  
編集 青森市本町二丁目十番二号 青森企画演出株式会社 (社長) 渡辺 徹郎

## 清潔なゴミ処理で、きれいな街づくり!

ポリ袋を使って、ゴミ処理を  
清潔で能率的に



ポリ袋の一括注文のご相談は  
桜紙業株式会社

本社 南郡尾上町 TEL 3125-3126  
青森店 青森市中央古川美法34  
TEL (2) 3364 (2) 8343

尾上 019257